



日章学園九州国際高等学校校長便り 睦月
建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
学園スローガン：やり抜く力
学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和3年(2021年)1月8日(金)校長 屋田伸仁



三日坊主 vs 臥薪嘗胆

明けましておめでとうございます。

さて、「一年の計は元旦にあり」と言います。同じ言い方で、「一日の計は朝にあり」や「一生の計は少壮の時にあり」と言うのがあります。目標や計画を立てることは大切。しかし、「三日坊主」という言葉もあるように目標を忘れずに持ち続ける

目標



ことは思った以上に難しい。どうすれば、目標を持ち続けられるか？ここで、中国の有名な故事「臥薪嘗胆」を紹介したい。

昔、呉と越の国が戦争をしました。呉が負けて、呉王の父親は戦死しました。父の仇を討つことを忘れないように呉王は薪の上で寝続けました。2年後の戦いでは呉が越を見事に打ち負かしました。越王は負けた悔しさを忘れないように、苦い胆を嘗め続けて巻き返しをねらいました。12年後の両者の戦いは、越の国が勝利しました。



2人の王から学ぶことは、目標を持ち続けるためには工夫が必要だということです。と言って、薪の上で寝たり(臥薪),胆を嘗めたり(嘗胆)する必要はありませんが、目標を書いた紙を勉強机の前に貼っていつも意識する等の工夫をしたいものです。それと同時に、目標が達成したときのイメージを描いたり、成功したときのワクワク感を想像したり、潜在意識の活用も効果的です。自分の夢や目標に向かって、三日坊主を吹き飛ばし、明るく元気に根気よく、今年も頑張りましょう。

「鶏口牛後」で自分を活かす

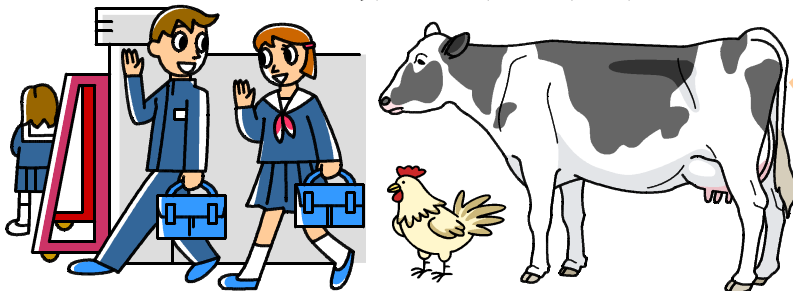
先月号まで、日章学園九州国際高等学校は、「寮のある単位制高校」であることを紹介してきました。本校の特徴は、「寮」以外にも「少人数指導」や「個別指導」があります。今年は「丑」年です。牛にちなんだことわざで、本校の特徴を言い表しているものはないかと探しました。ありました！



「鶏口牛後」(鶏口となるも牛後となるなかれ)。意味は「大きな集団で埋もれてしまうよりは、小さな集団の中でトップになるほうがよい」です。

高校生や中学生の中には、自分はどうも多人数の中では居心地が悪く、違和感を感じてしまう。集団に埋もれてしまう。時には、人間関係がこじれたり、いじめに遭ったり、一斉授業のスピードについていけない、授業内容がわからないと感じたりする。あ～、なんとかならないか。そこで、お勧めなのが、日章学園九州国際高等学校です。少人数学級や個別指導なら、やっていけるかもしれませんよ。環境を変えて、再チャレンジしてみるのも一つの生き方だと思います。今まで不登校だったけど、本校に転入学したおかげで毎日登校することができた体験談を語る卒業生も少なくありません。進路変更を希望している皆さん、不登校の皆さん、本校は皆さんをトコトン面倒見ます。

「鶏口牛後」にならって自分を活かす道を切り開きませんか？



本年度の学園スローガンは「やり抜く力」です。
 「やり抜く力」とは、長期目標に向かって情熱や忍耐力で、マラソンを走るように努力を続けること。
 コロナに打ち勝って、成功を掴もう！

